

TruGate

Windows ログオンモジュール付き 認証フレームワーク

ユーザーズガイド

Rev. 1.0.5



有限会社ディーオーアイネット

免責事項

- 1) 本資料に掲載された内容に起因する直接的および間接的な損害またはその他の権利の侵害に関して当社は一切その責任を負わない。
- 2) 本資料によって第三者または当社の特許権その他の権利を承諾するものではない。
- 3) 本資料の一部または全部を当社に無断で転載複製する事を禁ずる。
- 4) 本資料に記載された仕様等は改良などの目的で予告なく変更する場合がある。

本資料に記載された会社名ならびに製品名は各社の商標もしくは登録商標です。

本製品を輸出する場合は外国為替及び外国貿易法並びに米国の輸出管理法規などの規制をご確認の上、必要な手続きをお取りください。

変更履歴

Rev.	発行年月日	修正内容
1.0.0	2010/11/11	初版。
1.0.1	2012/04/17	バージョンアップに伴い対応 OS から Windows 2000 を削除。
1.0.2	2013/05/09	対応 OS に Windows 8、Windows Server 2012 を追記。 試用期間の変更。
1.0.3	2014/12/04	対応 OS から日本語版の表記を削除。
1.0.4	2015/07/20	対応 OS に Windows 10 を追記。 ODBC 関連の説明を追記。
1.0.5	2023/10/27	対応 OS を変更。

目次

1. はじめに	8
2. 動作環境について	8
a. 対応 OS	8
b. 利用可能な認証デバイス	8
c. 必要なデバイスプラグイン	8
d. インストール要件	8
e. 動作要件	8
3. 製品概要	8
a. 製品構成	8
i. Windows ログオンモジュール	8
ii. 設定ユーティリティ	9
b. パッケージ	9
i. シングルライセンス版	9
ii. ボリュームライセンス版	9
4. 注意事項	9
5. インストールとアンインストール手順	9
a. インストール	9
b. アンインストール	12
6. 操作方法	14
a. 初期設定	14
i. 設定ユーティリティの起動	14
1) ライセンスの検証	14
ii. デバイス検出設定	16
iii. データベース設定	17
iv. テンプレートの登録	18
v. パスワード情報の登録	19
1) 設定例	20
vi. TruStack Gina の有効化	20
1) ドメインログオン時にユーザー認証	21
2) ワークグループログオン時にユーザー認証	21
vii. ユーザーの登録解除	21
viii. 製品登録	24
ix. クライアント設定ユーティリティの終了	24
b. TruStack Gina による Windows ログオン	25
i. ログオン	25
ii. デバイス選択とデバイス設定について	28

iii. パスワードの変更について	28
1) OS パスワードの変更	29
2) パスワード情報の変更	30
c. TruStack Gina による Windows ロック解除	30
i. ロック解除	30
d. 認証デバイスの取外しによる Windows ロック	31
i. ローカル セキュリティ ポリシーの設定	31
e. データベース	33
i. データベースの作成	33
ii. データソース(ODBC)設定	35

図表目次

図 1 セットアップウィザード起動画面	10
図 2 使用許諾契約画面	10
図 3 セットアップタイプの選択画面	11
図 4 インストール準備完了画面	11
図 5 インストールインジケータ画面	12
図 6 インストール完了画面	12
図 7 アプリと機能画面	13
図 8 アンインストール確認画面	13
図 9 アンインストールインジケータ画面	14
図 10 設定ユーティリティの起動	15
図 11 試用期間中注意画面	15
図 12 試用期間終了注意画面	16
図 13 設定ユーティリティ起動画面	16
図 14 デバイス検出設定画面	17
図 15 データベースの設定画面 - 起動	17
図 16 データベースの設定画面 - 入力	18
図 17 テンプレートの登録画面	18
図 18 パスワードの設定画面 - 起動	19
図 19 パスワードの設定画面 - 入力	19
図 20 PIN の認証画面	20
図 21 パスワードの設定画面 - 終了	20
図 22 Windows ログオンモジュール環境設定画面 - 起動	21
図 23 Windows ログオンモジュール環境設定画面 - チェック	21
図 24 ユーザー登録解除画面	22
図 25 ユーザー登録解除画面 - リストから選択	22
図 26 ユーザー登録解除画面 - 解除	22
図 27 ユーザー登録解除画面 - リストから解除	23
図 28 ユーザー登録解除画面 - 全ユーザーの登録解除	23
図 29 全ユーザー登録解除確認画面	23
図 30 全ユーザー登録解除画面 - リストから全解除	24
図 31 製品登録画面	24
図 32 設定ユーティリティの終了	25
図 33 Windows ログオン画面 - ユーザー名入力	26
図 34 Windows ログオン画面 - 認証開始	27
図 35 Windows パスワードの入力画面	27
図 36 Windows ログオン画面 - デバイス選択	28

図 37 認証デバイスの選択画面	28
図 38 管理画面	29
図 39 パスワードの変更画面	30
図 40 Windows ロック解除の認証画面	31
図 41 ローカル セキュリティ ポリシー起動画面	32
図 42 プログラムの保守画面	32
図 43 SQL Server Management Studio 起動画面	33
図 44 SQL スクリプトファイル読込	34
図 45 SQL スクリプトファイルの選択	34
図 46 SQL スクリプトの実行	35
図 47 truncate データベースの作成	35
図 48 ODBC データ ソース アドミニストレータ起動画面	36
図 49 データ ソースの新規作成	36
図 50 SQL Server に接続するための新規データ ソースを作成するウィザード画面 - 基本 設定	37
図 51 SQL Server に接続するための新規データ ソースを作成するウィザード - 認証方法 ..	37
図 52 SQL Server に接続するための新規データ ソースを作成するウィザード - 既定のデータ ベース	38
図 53 SQL Server に接続するための新規データ ソースを作成するウィザード - 詳細設定 ..	38
図 54 ODBC データソースの作成確認	39
図 55 ODBC データソースの作成確認	39
図 56 ODBC データ ソース アドミニストレータ完了画面	40

1. はじめに

本ユーザーズガイドでは、ディーオーアイネット社製 TruGate ならびに TruGate の設定ユーティリティの操作手順を説明します。

2. 動作環境について

a. 対応 OS

Windows 10 32bit/64bit

Windows 11

Windows Server 2016

Windows Server 2019

b. 利用可能な認証デバイス

デバイスプラグインに依存します。

c. 必要なデバイスプラグイン

以下に示すデバイスプラグインの内、何れか 1 つ以上で、利用する認証デバイスと対になるもの。

一般 USB フラッシュメモリ用デバイスプラグイン ver.5.0.10

PC/SC Light Edition デバイスプラグイン ver.5.0.10

d. インストール要件

- ① 前述の認証デバイスおよびデバイスプラグインが事前にインストールされていること。
- ② 認証デバイスのインストールや使用準備が完了していること。

e. 動作要件

- ① ユーザープロパティにおいて「このコンピュータを使うには、ユーザー名とパスワードを入力する必要があります」が有効になっていること。
- ② パスワードが空でないこと。

3. 製品概要

a. 製品構成

TruGate には、Windows ログオンモジュールならびに設定ユーティリティの機能が含まれています。

i. Windows ログオンモジュール

Windows ログオンモジュール(以下、TruStack Gina と称します)は、Windows へのログオンやワークステーションロック解除をデバイス認証で代替します。

ii. 設定ユーティリティ

設定ユーティリティは、認証デバイスの設定、テンプレートの登録、パスワードの設定、ユーザーの登録解除、Windows ログオンモジュールの設定等を行います。

b. パッケージ

インストーラパッケージにはシングルライセンス版とボリュームライセンス版の 2 種類があります。

i. シングルライセンス版

主に個人ユーザー向けの製品パッケージです。exe インストーラパッケージで提供されます。試用期間は 1 ヶ月です。試用期間中の機能制限はありません。

ii. ボリュームライセンス版

主に企業ユーザー向けの製品パッケージです。msi インストーラパッケージで提供されます。インストールされた PC 上の OS の「アプリと機能」からは削除できません。削除は Active Directory サーバーもしくは msi インストーラを再起動して実施します。32bit 版と 64bit 版があり、試用期間は 3 ヶ月です。試用期間中の機能制限はありません。

4. 注意事項

1. Windows ログオンを操作するような、他社製アプリケーションとは共存できません。
2. 文中の USB キーは、一般 USB フラッシュメモリなどを指します。
3. シングルライセンス版とボリュームライセンス版を、一緒に同一 PC にインストールしないでください。

5. インストールとアンインストール手順

注) インストールする前に、インストール要件をご確認ください。インストール及びアンインストールは、ローカルコンピュータの管理者権限でログオンして行ってください。

a. インストール

TruGate Trusted Stackware Windows Logon Module.exe を実行すると下記に示す画面が表示されますので「次へ」ボタンをクリックしてください。



図 1 セットアップウィザード起動画面

次に、使用許諾契約画面が表示されますので、画面中の「ソフトウェア使用許諾契約書」をよくお読みになった上、ご同意頂ける場合のみ「使用許諾契約書のすべての条項に同意します」ラジオボタンをチェックし、「次へ」ボタンをクリックしてください。

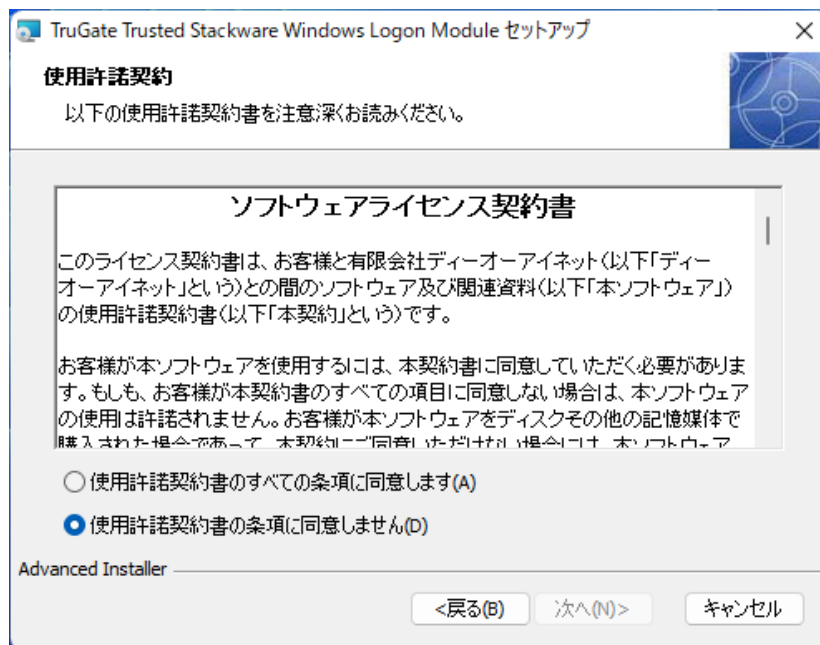


図 2 使用許諾契約画面

次に、セットアップタイプの選択画面が表示されたら、利用環境に応じて選択してください。

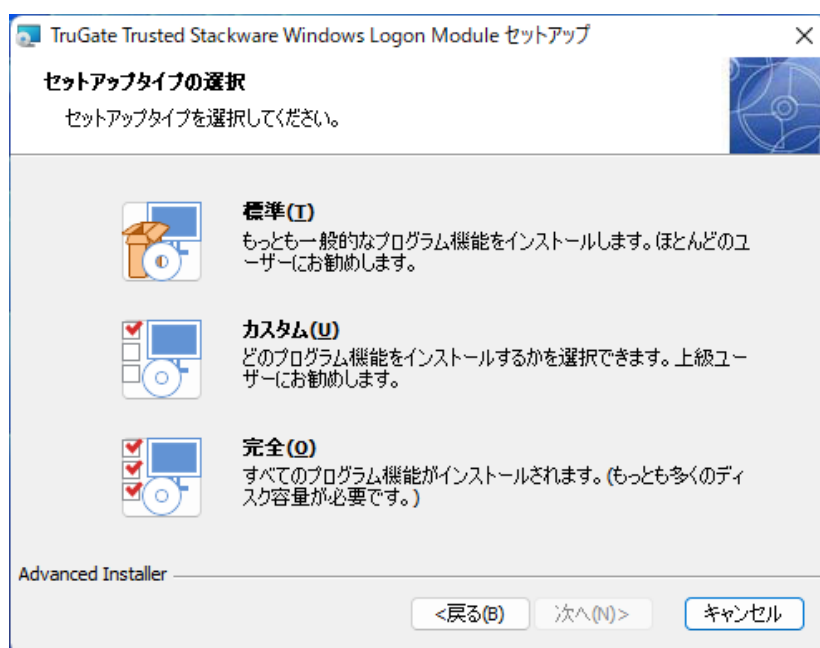


図 3 セットアップタイプの選択画面

次に、インストール準備完了画面が表示されますので、ここまでの操作で変更の必要が無い場合は、「インストール」ボタンをクリックしてください。変更したい場合は、「戻る」ボタンをクリックし、変更を希望する画面まで戻って、やり直してください。

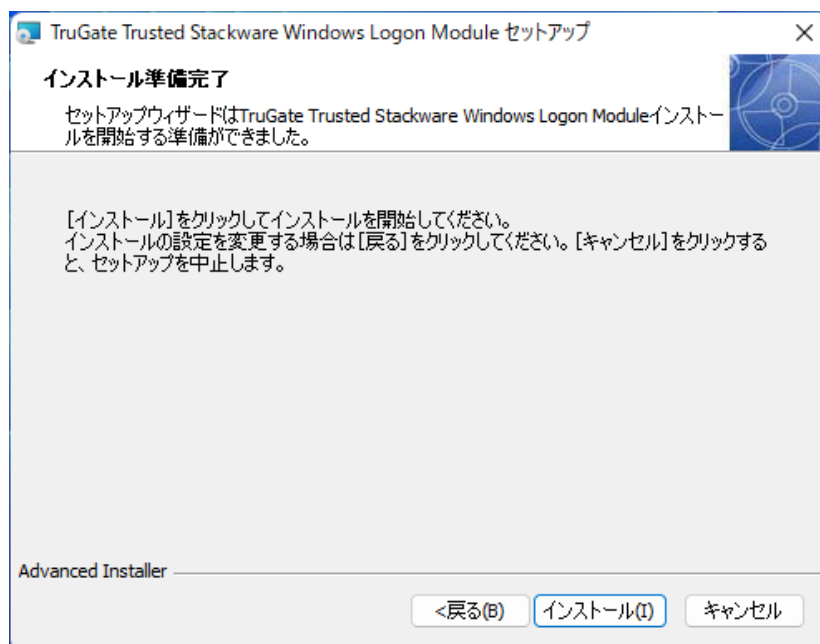


図 4 インストール準備完了画面

インストール中は、下記に示すインジケータ画面が表示されます。

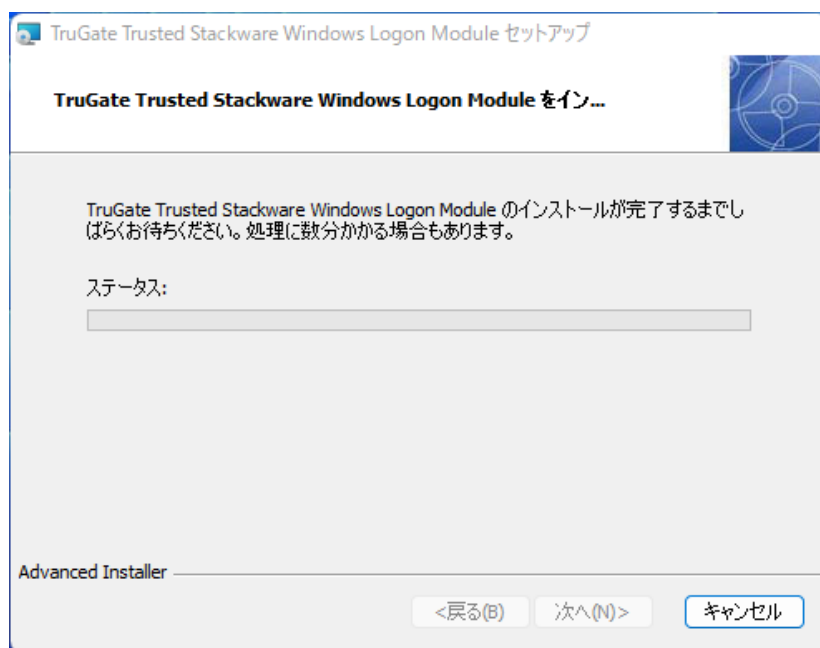


図 5 インストールインジケータ画面

インストールが終了すると、下記に示すインストール完了画面が表示されますので、「完了」ボタンをクリックしてください。



図 6 インストール完了画面

b. アンインストール

OS の「アプリと機能」から TruGate Trusted Stackware Windows Logon Module を選択してく

ださい。

以下は、Windows 11 での操作例です。



図 7 アプリと機能画面

アンインストールをクリックし、メッセージに従って TruGate のアンインストールを行ってください。



図 8 アンインストール確認画面

アンインストール中は、下記に示すインジケータ画面が表示されます。

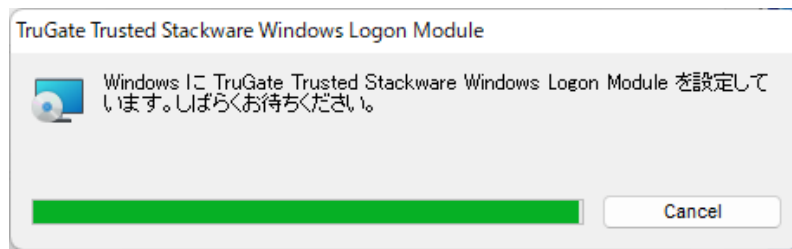


図 9 アンインストールインジケータ画面

アンインストールが終了すると、インジケータ画面が消えます。

6. 操作方法

a. 初期設定

TruGate を使用するに際し、先ず下記手順に従って初期設定を行ってください。

注）初期設定を行わないと、以降、正常に動作しません。

i. 設定ユーティリティの起動

注）設定ユーティリティの操作は、ローカルコンピュータの管理者権限でログオンして行ってください。

1) ライセンスの検証

「スタート」－「すべてのアプリ」－「TruStack」－「TruGate の設定」の順にクリックします。

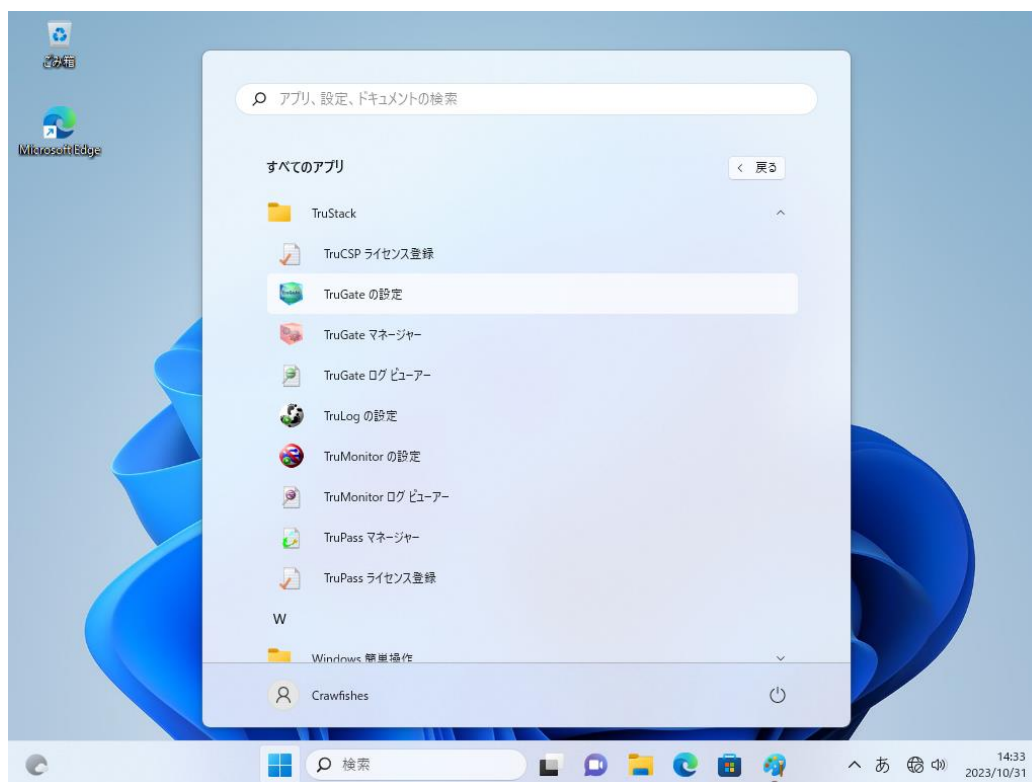


図 10 設定ユーティリティの起動

試用期間中の場合、下記に示す様なポップアップメッセージが表示されます。メッセージが表示された場合は、「OK」ボタンをクリックしてください。

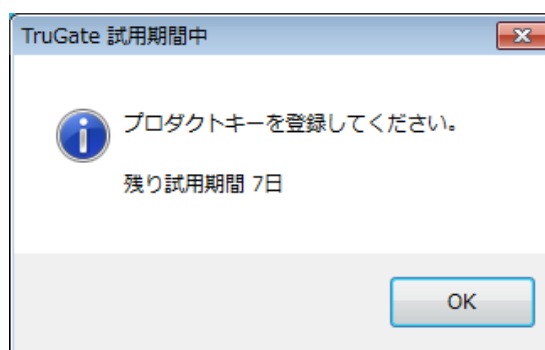


図 11 試用期間中注意画面

注) シングルライセンス版の試用期間は 1 ヶ月、ボリュームライセンス版の試用期間は 3 ヶ月です。インストール後、試用期間を経過すると使用できなくなります。引き続き使用する場合は、製品登録を行ってください。

試用期間が過ぎた場合は、下記に示す様なダイアログボックスが表示されます。継続して使用する場合、プロダクトキーをエディットボックスに入力した後、「OK」ボタンをクリックしてください。試用を終了する場合は「キャンセル」ボタンをクリックし、

TruGate をアンインストールしてください。

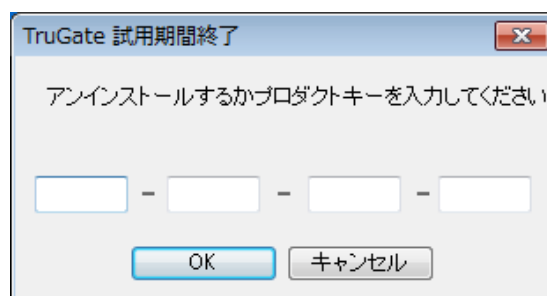


図 12 試用期間終了注意画面

設定ユーティリティ起動画面が表示されたら、「デバイス検出設定...」ボタンをクリックし、デバイス設定を行ってください。

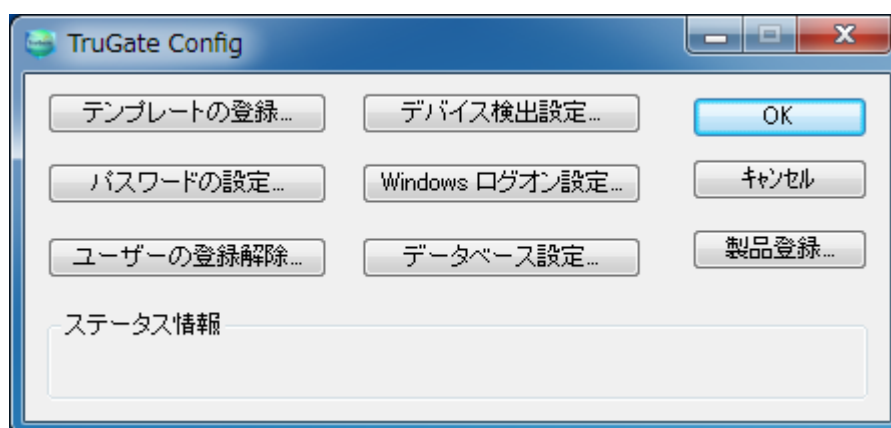




図 13 設定ユーティリティ起動画面

ii. デバイス検出設定

「デバイス検出設定...」ボタンをクリックすると、下記に示す様なデバイス検出設定画面が表示されます。

「デバイス検出」で、「自動」ラジオボタンがチェックされていると、「デバイス検出順」リストビューの一番上にリストアップされているデバイスが、デバイス認証時に自動的に使用されます。もし、そのデバイスが利用不可であった場合、「デバイス検出順」リストビューで次に列挙されたデバイスが自動的に使用されます。

まず、「デバイス検出順」リストビューから使用する認証デバイスを選択し、「選択デバイス設定...」ボタンをクリックしてデバイス設定を行います。次に、 もしくは  ボタンを使用して、デバイスの検出順を希望する順序に変更します。全てのデバイス設定が終了したら、「OK」ボタンをクリックします。

デバイス検出で、「手動」ラジオボタンがチェックされている場合、「デバイス検出順」リストビューが「デバイス選択」リストビューに変わります。「デバイス選択」リストビューから使用する認証デバイスを選択し、「選択デバイス設定...」ボタンをクリックしてデバイス設定を行

った後、「OK」ボタンをクリックします。

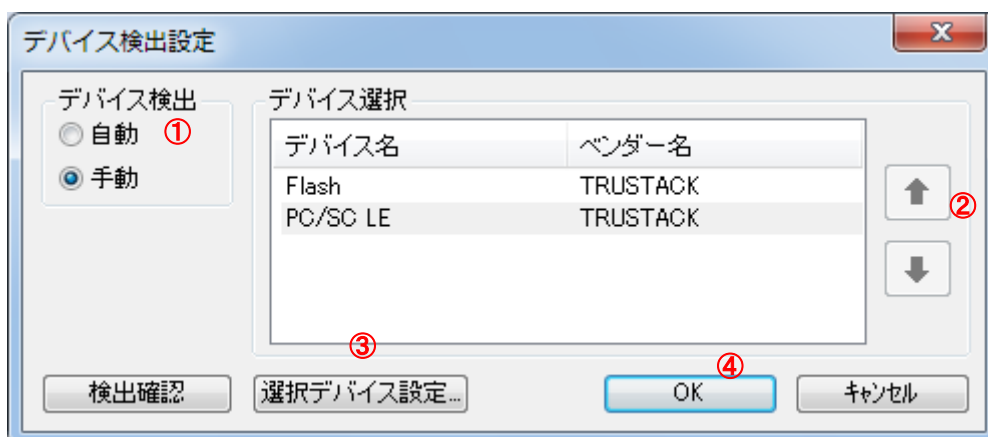


図 14 デバイス検出設定画面

デバイスプラグインのデバイス設定については、各デバイスプラグインに添付されたユーザーズガイドをご参照ください。

注）一旦、設定を行った後にデバイスプラグインを追加インストールした際は、再度、デバイス検出設定を行ってください。

iii. データベース設定

TruGate に組み込まれている規定のデータベース以外のデータベースを使用する場合、データベース設定を実行してください。ODBC ドライバが提供されているデータベースが利用可能です。既定のデータベースを使用する場合は、データベース設定を実施する必要はありません。

注） データベース設定を実施する場合、データベース設定を行う前に、データソース (ODBC) の設定を行ってください。詳細は、後述のデータベースの項をご参照ください。

設定ユーティリティ起動画面から、「データベース設定...」ボタンをクリックすると下記に示す様なデータベースの設定画面が表示されます。

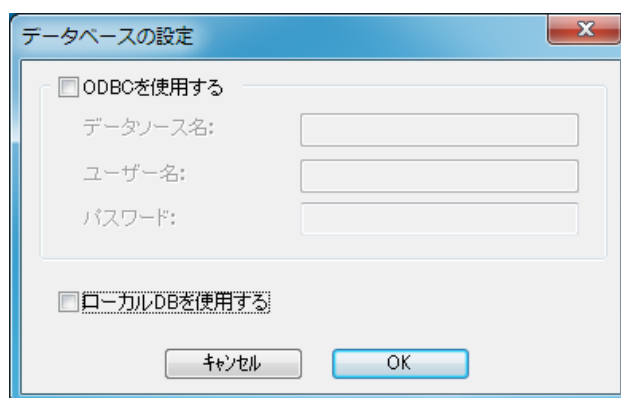


図 15 データベースの設定画面 - 起動

「ODBCを使用する」チェックボックスをチェックし、予め設定したデータソースの名前を「データソース名」エディットボックスへ入力します。データベースサーバーに接続するためのユーザー名とパスワードが指定されている場合、「ユーザー名」エディットボックスならびに「パスワード」エディットボックスに夫々入力します。

オフライン時にキャッシュしたデータを利用して認証を許可する場合は、「ローカル DB を使用する」チェックボックスをチェックしてください。ODBC で接続したデータベースの内容を、TruGate に組み込まれている規定のデータベースにキャッシュします。設定が終了したら、「OK」ボタンをクリックしてください。

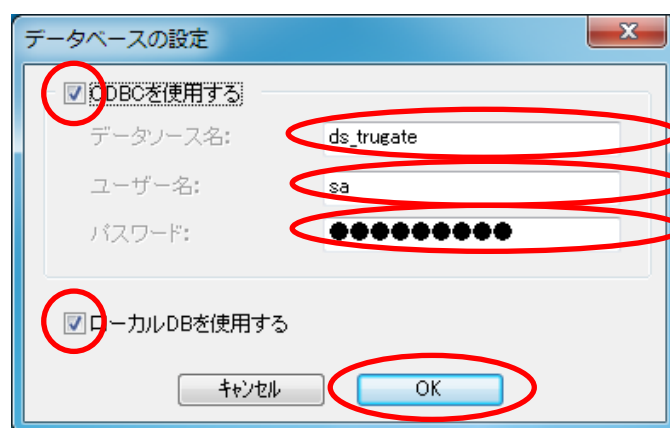


図 16 データベースの設定画面 - 入力

iv. テンプレートの登録

デバイス設定が終了したら、認証デバイスのテンプレートを登録します。

設定ユーティリティ起動画面から、「テンプレートの登録...」ボタンをクリックすると下記に示す様なテンプレートの登録画面が表示されます。

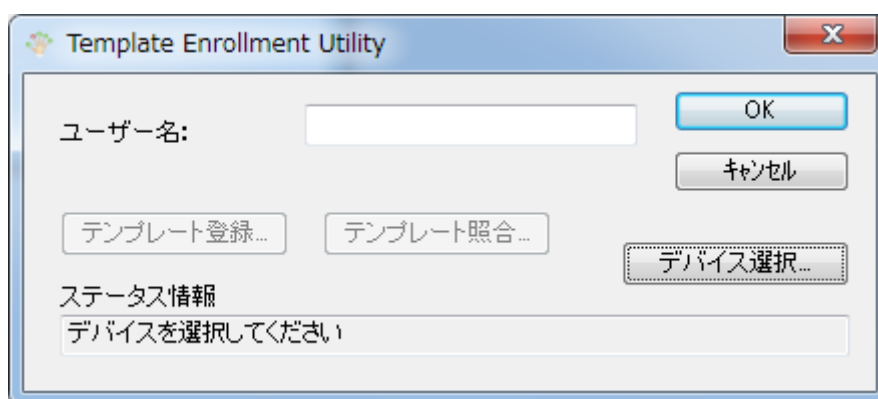


図 17 テンプレートの登録画面

テンプレートの登録については、各デバイスプラグインに添付されたユーザーズガイドをご参照ください。

注) テンプレートを登録しないと、パスワードの設定はできません。必ず、テンプレートの

登録を行ってください。

v. パスワード情報の登録

テンプレートの登録が終了したら、Windows ログオンパスワードを登録します。

設定ユーティリティ起動画面から、「パスワードの設定…」ボタンをクリックすると下記に示すパスワードの設定画面が表示されます。

ドメインに参加している PC の場合、ドメイン名ドロップダウンリストから、ドメインかローカル PC (このコンピュータ) を選択してください。

注) ドメインに参加しているときにおいて、ドメインとローカル PC に同名のユーザーアカウントが存在する場合、ドメインとローカル PC 夫々にパスワードを設定してください。

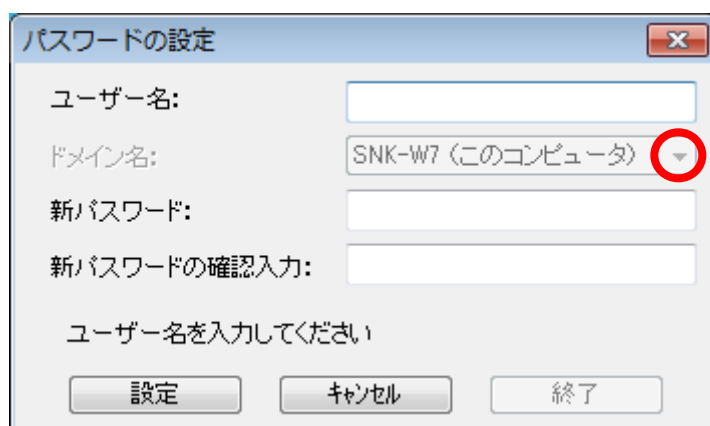


図 18 パスワードの設定画面 - 起動

最初に、テンプレートの登録で登録した認証デバイスを接続、あるいは認証デバイスが用いる IC カードをセットします。

次に、既存の Windows ユーザー名と Windows ログオンパスワードを、「ユーザー名」エディットボックスならびに「新パスワード」エディットボックスに夫々入力します。「新パスワードの確認入力」エディットボックスにも、Windows ログオンパスワードを入力し、「設定」ボタンをクリックしてください。



図 19 パスワードの設定画面 - 入力

1) 設定例

以下は一般 USB フラッシュメモリ用デバイスプラグインでの例を示します。
「設定」ボタンをクリックすると、下記に示す PIN の認証画面が表示されます。テンプレートの登録で設定した PIN 情報を入力し、「OK」ボタンをクリックしてください。

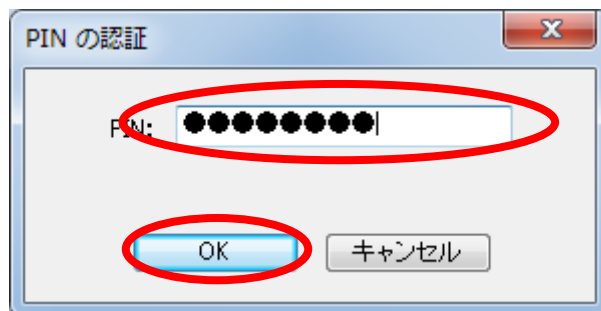


図 20 PIN の認証画面

パスワード情報の登録に成功すると、ステータス情報欄に「パスワードを設定しました」と表示されます。

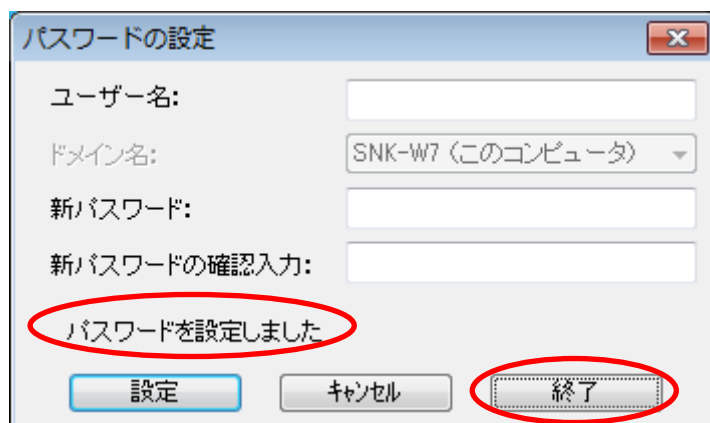


図 21 パスワードの設定画面 - 終了

引き続き、別ユーザーのパスワード情報を登録したい場合は、認証デバイスもしくは IC カードを取り外し、別ユーザー用の新たな認証デバイスを接続、もしくは IC カードをセットして繰り返し登録を行います。

全ての登録が終了したら、「終了」ボタンをクリックし、パスワード情報の登録作業を終えます。

vi. TruStack Gina の有効化

TruStack Gina を有効にすると、パスワードによる Windows へのログオンやワークステーションロック解除を TruStack Gina によるデバイス認証で代替できます。代替を希望しない場合は、以下の操作は不要です。

TruStack Gina を有効にするには、設定ユーティリティ起動画面から、「Windows ログオン設定...」ボタンをクリックし、下記に示す Windows ログオンモジュール環境設定画面を

表示します。

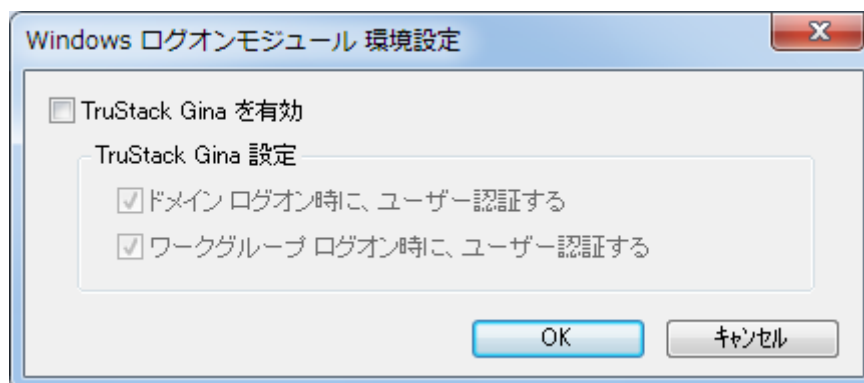


図 22 Windows ログオンモジュール環境設定画面 - 起動

Windows ログオンモジュール環境設定画面が表示されたら、「TruStack Gina を有効」チェックボックスをチェックした後、「OK」ボタンをクリックします。

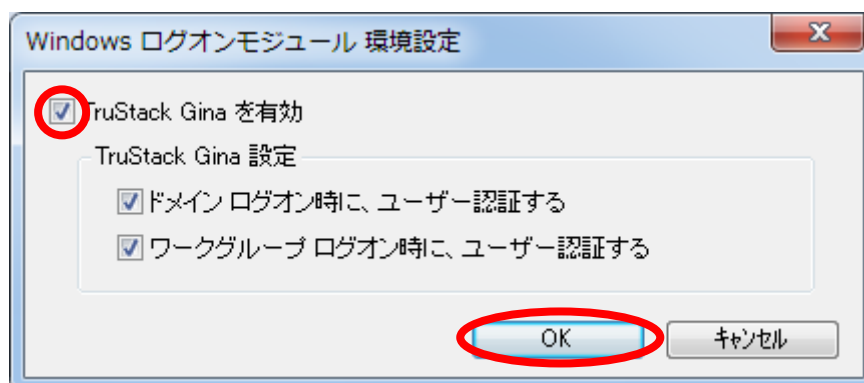


図 23 Windows ログオンモジュール環境設定画面 - チェック

以下に、本製品をよくご存じの方の為に、Windows ログオンモジュール環境設定画面における、各設定項目の詳細を説明します。通常は、設定を変更せずにご使用ください。

1) ドメインログオン時にユーザー認証

「TruStack Gina を有効」がチェックされている場合に、本機能は有効です。本チェックボックスがチェックされていると、ドメインにログオンする際やワークステーションのロックを解除する際に、デバイス認証を伴うユーザー認証が実施されます。

2) ワークグループログオン時にユーザー認証

「TruStack Gina を有効」がチェックされている場合に、本機能は有効です。本チェックボックスがチェックされていると、ワークグループにログオンする際やワークステーションのロックを解除する際に、デバイス認証を伴うユーザー認証が実施されます。

注) テンプレートが未登録の場合、「TruStack Gina を有効」チェックボックスは自動的にアンチェックされた後、保存されます。

vii. ユーザーの登録解除

ユーザーの登録解除を実行すると、そのユーザーに紐づけられたテンプレートやパスワ

ード、証明書など全ての情報が削除されます。

登録解除をしたい場合は、「ユーザーの登録解除...」ボタンをクリックします。

設定ユーティリティ起動画面から、「ユーザーの登録解除...」ボタンをクリックすると下記に示す様なユーザー登録解除が表示されます。

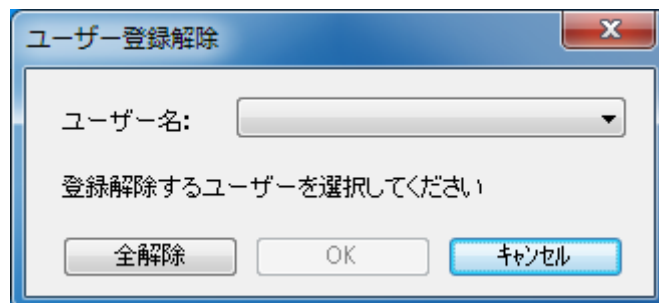


図 24 ユーザー登録解除画面

ユーザー登録解除画面が表示されたら、登録解除をしたいユーザーを、ユーザー名ドロップダウンリストから選択します。

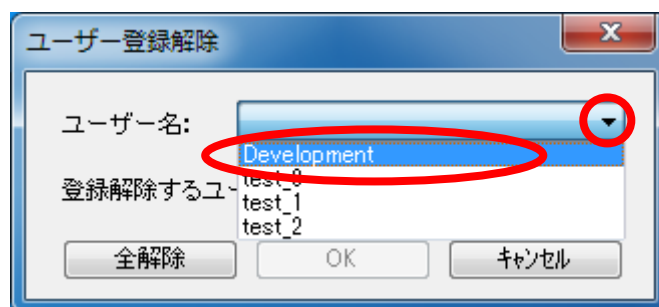


図 25 ユーザー登録解除画面 - リストから選択

登録解除をしたいユーザーを選択したら、「解除」ボタンをクリックしてください。

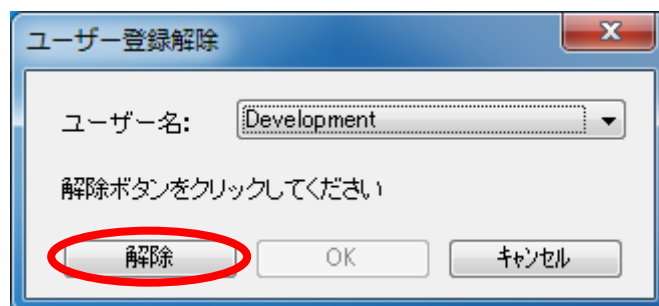


図 26 ユーザー登録解除画面 - 解除

リストからユーザーの登録解除に成功すると、下記に示す様なメッセージが表示されます。「OK」ボタンをクリックすると、登録解除が完了します。「キャンセル」ボタンをクリックすると、登録解除を中止します。

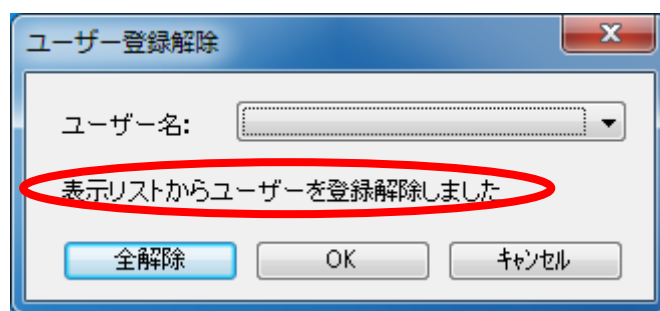


図 27 ユーザー登録解除画面 - リストから解除

全てのユーザーの登録解除を行いたい場合は、「全解除」ボタンをクリックしてください。

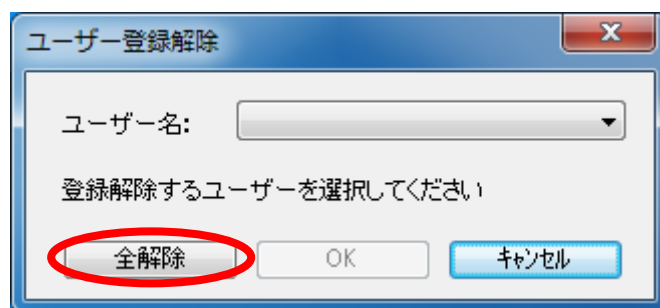


図 28 ユーザー登録解除画面 - 全ユーザーの登録解除

下記に示す様な確認メッセージが表示されます。全てのユーザーを登録解除してもよい場合のみ、「はい」ボタンをクリックしてください。

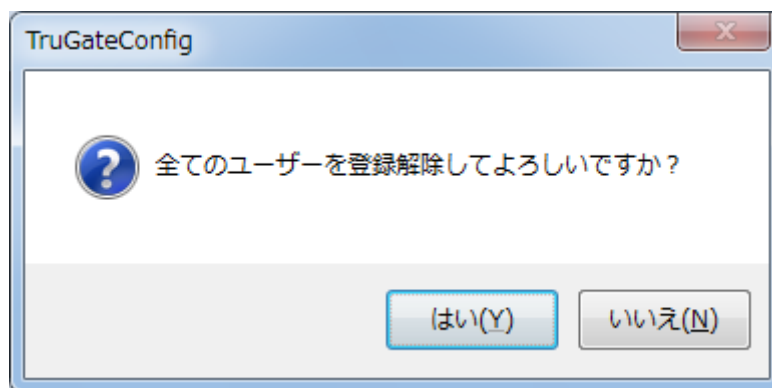


図 29 全ユーザー登録解除確認画面

リストから全てのユーザーの解除に成功すると、下記に示す様なメッセージが表示されます。「OK」ボタンをクリックすると、全てのユーザーの登録解除が完了します。「キャンセル」ボタンをクリックすると、登録解除を中止します。

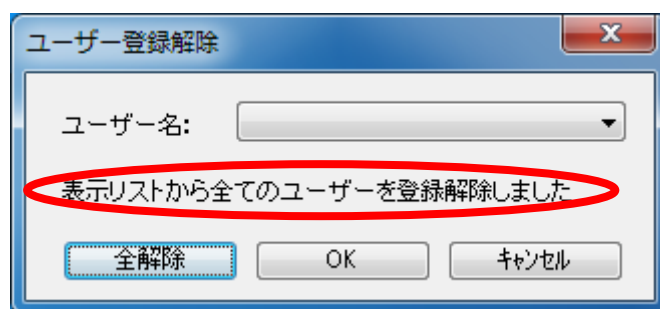


図 30 全ユーザー登録解除画面 - リストから全解除

viii. 製品登録

製品登録を行う場合は、設定ユーティリティ画面中の「製品登録...」ボタンをクリックしてください。

「製品登録」ダイアログが表示されたら、別途入手したプロダクトキーをエディットボックスに入力した後、「OK」ボタンをクリックしてください。「キャンセル」ボタンをクリックすると、製品登録を中止します。

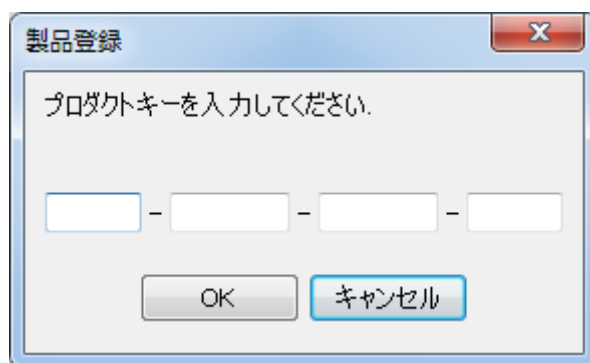


図 31 製品登録画面

プロダクトキーの認証に成功し、製品登録が正常終了すると、設定ユーティリティ画面中の「製品登録...」ボタンが消えます。

ix. クライアント設定ユーティリティの終了

全ての初期設定が終了したら、設定ユーティリティ画面の「OK」ボタンをクリックし、設定ユーティリティを終了します。

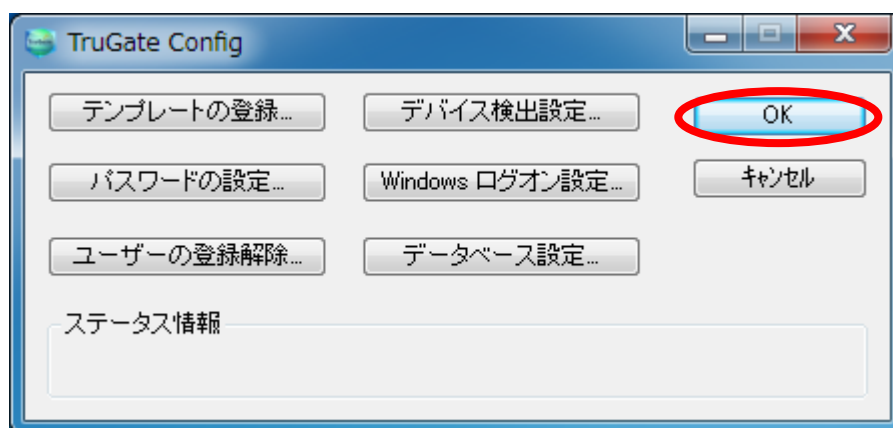


図 32 設定ユーティリティの終了

b. TruStack Gina による Windows ログオン**i. ログオン**

以下は一般 USB フラッシュメモリ用デバイスプラグインでの例を示します。

設定ユーティリティの Windows ログオン設定にて TruStack Gina を有効化した後、次にログオンした際に下記に示す様なログオン画面が表示されたら、「ログオン先」ドロップダウンリストからログオン先を選択した後、「ユーザー名」エディットボックスにユーザー名を入力してください。



図 33 Windows ログオン画面 - ユーザー名入力

ユーザー名の入力終了したら、USB フラッシュメモリを挿入もしくは再挿入し、PIN 入力画面が表示されたら PIN を入力してデバイス認証を行ってください。他の認証デバイスの場合は「→」ボタンをクリックし、引き続き表示されるデバイス認証画面（指紋認証画面など）に従ってデバイス認証を行ってください。認証に成功すると Windows ログオン処理が開始されます。



図 34 Windows ログオン画面 – 認証開始

注) ログオン先が「このコンピュータ」の時、Administrator などの OS で予め予約されているユーザー名 (Well Known Users) で Windows ログオンを試みた場合、デバイス認証画面は表示されず、下記に示す Windows パスワードの入力画面が表示されます。その際は、パスワードを入力し、「OK」ボタンをクリックしてください。

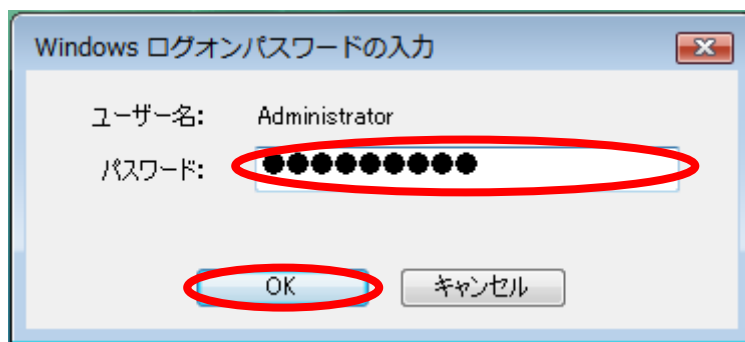


図 35 Windows パスワードの入力画面

ii. デバイス選択とデバイス設定について



図 36 Windows ログオン画面 – デバイス選択

上記の画面で「デバイス選択...」をクリックすると、下記に示す認証デバイスの選択画面が表示されます。

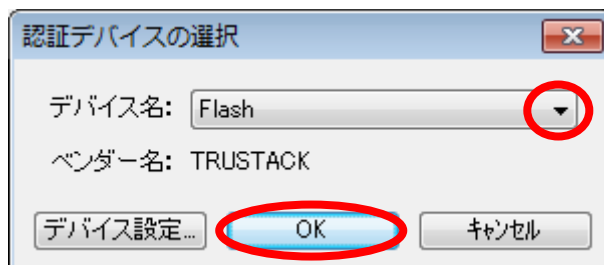


図 37 認証デバイスの選択画面

初期設定の認証デバイス以外で認証する必要がある場合、希望する認証デバイスをデバイス名ドロップダウンリストから選択した後、「OK」ボタンをクリックしてください。選択されているデバイスの設定を行う場合は、「OK」ボタンをクリックする前に、「デバイス設定...」ボタンをクリックしてください。

注）デバイス設定の詳細については、各デバイスプラグインユーザズガイドをご参照ください。

その後、前記画面で「OK」もしくは「→」ボタンをクリックしてください。

iii. パスワードの変更について

注）パスワードを変更する必要がある場合、ローカルコンピュータの管理者権限でロ

グオンして行ってください。パスワードの変更は、OS に登録されているパスワードの変更を行った後、TruGate に登録したパスワードの変更を行う必要があります。

1) OS パスワードの変更

まず、Windows へログオンした後、Ctrl + Alt + Del キーを押してください。

下記に示す管理画面が表示されたら、「パスワードの変更」をクリックします。

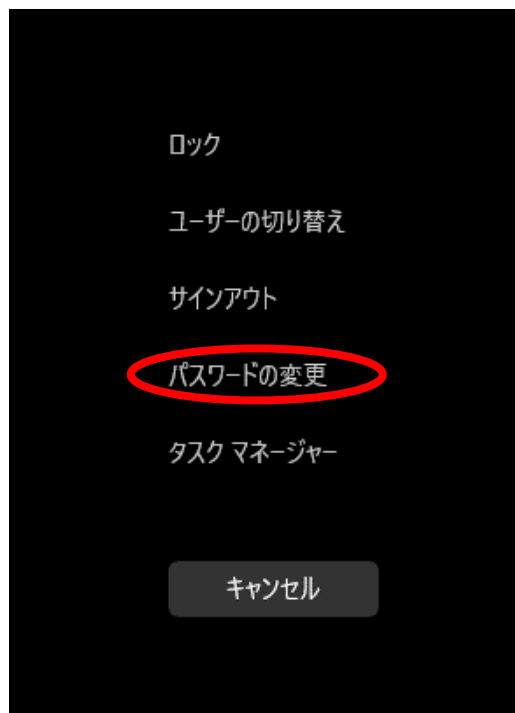


図 38 管理画面

次に、下記に示すパスワードの変更画面が表示されたら、古いパスワードと新しいパスワードを夫々入力した後、「→」をクリックします。

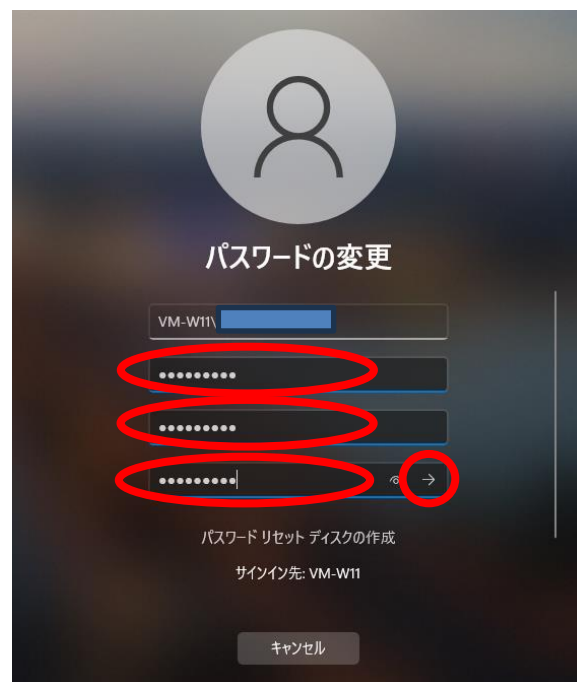


図 39 パスワードの変更画面

2) パスワード情報の変更

OS のパスワードを変更したら、次回、パスワードを変更したユーザー名で Windows ログオンを行う前に、前述の設定ユーティリティの「パスワード情報の登録」手順に従って、変更後のパスワード情報を TruGate に再登録してください。

c. TruStack Gina による Windows ロック解除

i. ロック解除

以下は一般 USB フラッシュメモリ用デバイスプラグインでの例を示します。

設定ユーティリティの Windows ログオン設定にて TruStack Gina を有効化した後、Windows ロックが実施されると、下記に示す様なロック解除の認証画面が表示されます。画面のメッセージに従って USB フラッシュメモリを挿入もしくは再挿入し、PIN 入力画面が表示されたら PIN を入力してデバイス認証を行ってください。他の認証デバイスの場合は、「→」ボタンをクリックして認証を開始してください。各認証デバイスに依存したデバイス認証画面が引き続き表示されますので、デバイス認証を行ってください。

デバイス認証に成功すると、ロックが解除されます。



図 40 Windows ロック解除の認証画面

注) ログオン先が「このコンピュータ」の時、Administrator などの OS で予め予約されているユーザー名 (Well Known Users) で Windows ログオンした場合、ロック解除の認証画面で Windows パスワードの入力が求められます。また、デバイスによっては、デバイス認証画面が表示されないものがあります。

d. 認証デバイスの取外しによる Windows ロック

USB フラッシュメモリや IC カードなど、認証デバイスを取り外した時に Windows ロックやログオフを実施したい場合、下記手順に従って Windows の設定を変更すると、認証デバイスを取り外した時に Windows ロックやログオフを行うことができます。

i. ローカル セキュリティ ポリシーの設定

インストールした PC の検索窓に、「ローカル セキュリティ ポリシー」と入力し、見つかったアプリケーションを起動します。

ローカル セキュリティ ポリシーが起動したら、左側ペインから「セキュリティ オプション」を選択した後、右側ペインから「対話型ログオン: スマート カード取り出し時の動作」をダブルクリックしてください。

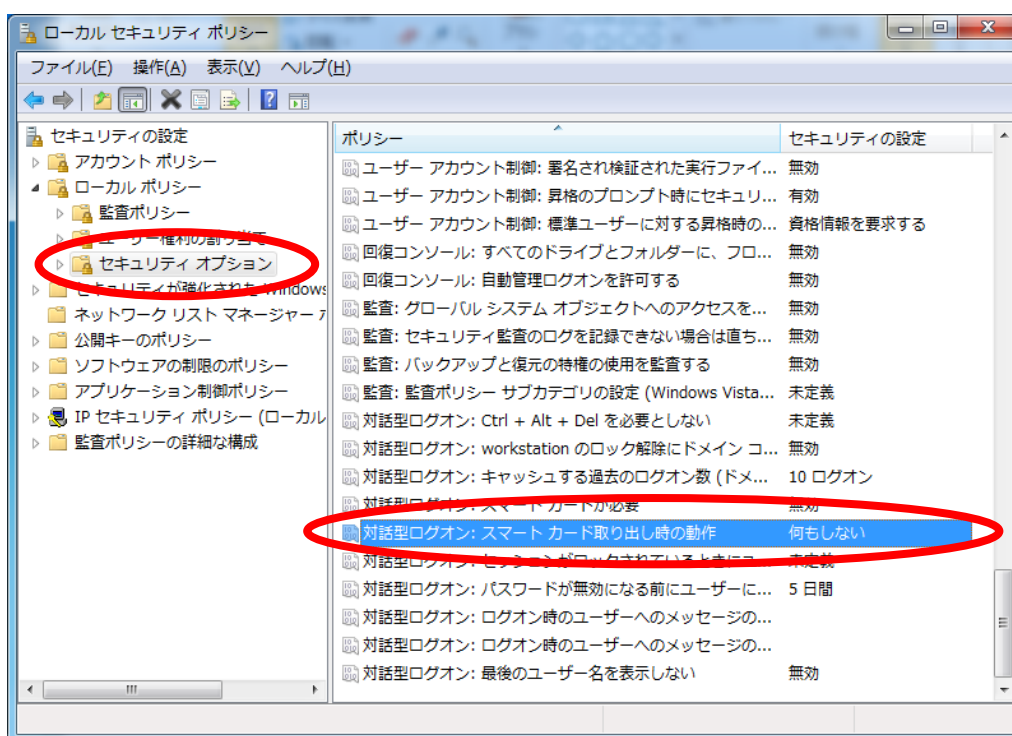


図 41 ローカル セキュリティ ポリシー起動画面

「対話型ログオン:スマート カード取り出し時の動作のプロパティ」が表示されたら、ドロップダウンリストから希望する動作を選択した後、「OK」ボタンをクリックしてください。

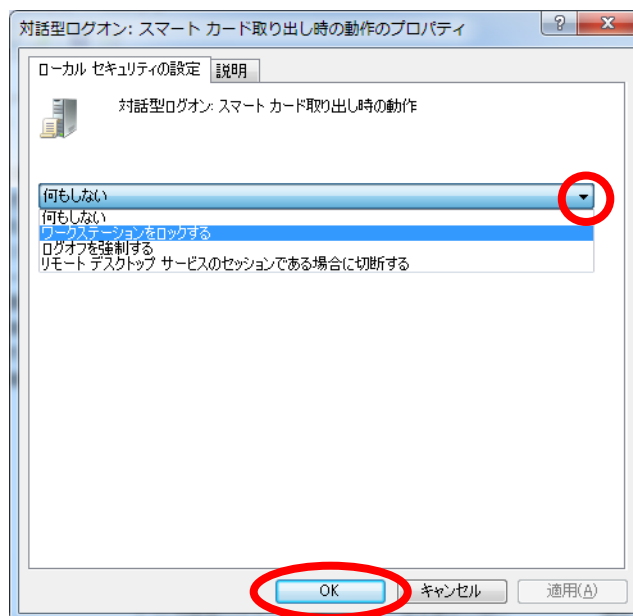


図 42 プログラムの保守画面

ローカル セキュリティ ポリシーに戻ったら、メニューバーから「ファイル」-「終了」の順にクリックし、終了してください。

次回の Windows ログオン以降に、認証デバイスの取外しによる Windows ロックやログオフが実行されます。

e. データベース

ネットワーク上や TruGate をインストールした PC 上で、既にデータベースサービスが稼働しており、且つそのデータベースサービス用の ODBC ドライバが提供されている場合、TruGate に組み込まれている規定のデータベースの代わりに、当該データベースを TruGate の認証データベースとして利用することが出来ます。

注) データソース(ODBC)の設定を行う前に、データベースとテーブルを作成しておく必要があります。下記に例として SQL Server 2008 を基に説明します。その他のデータベースをお使いの場合は、SQL スクリプトファイルを参考にして、データベースとテーブルを作成してください。

i. データベースの作成

まず、SQL Server がインストールされている PC において、SQL Server Management Studio を起動し、「接続」ボタンをクリックして目的の SQL Server に接続します。



図 43 SQL Server Management Studio 起動画面

SQL Server Management Studio 画面が表示されたら、「ファイル」－「開く」－「ファイル」の順にクリックします。

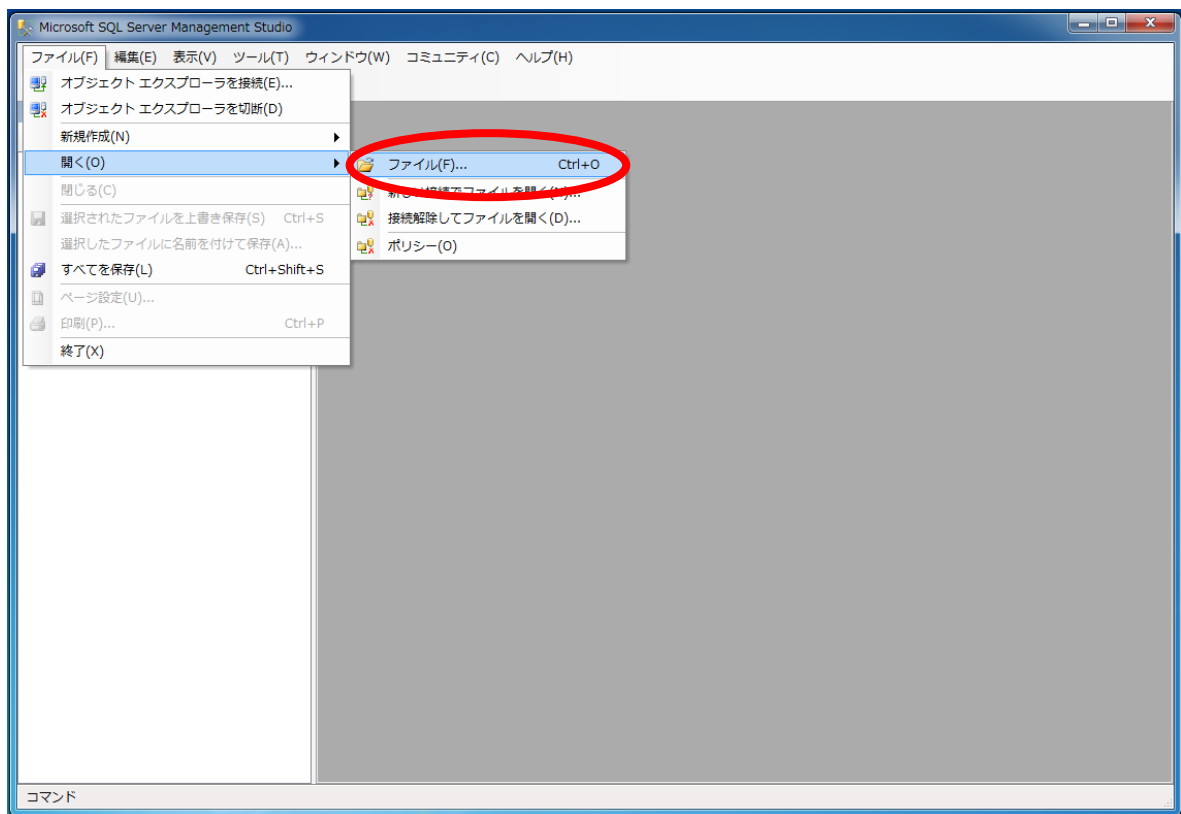


図 44 SQL スクリプトファイル読込

次に、「ファイルを開く」画面が表示されたら、予め入手した SQL スクリプトファイルを選択し、「開く」ボタンをクリックします。

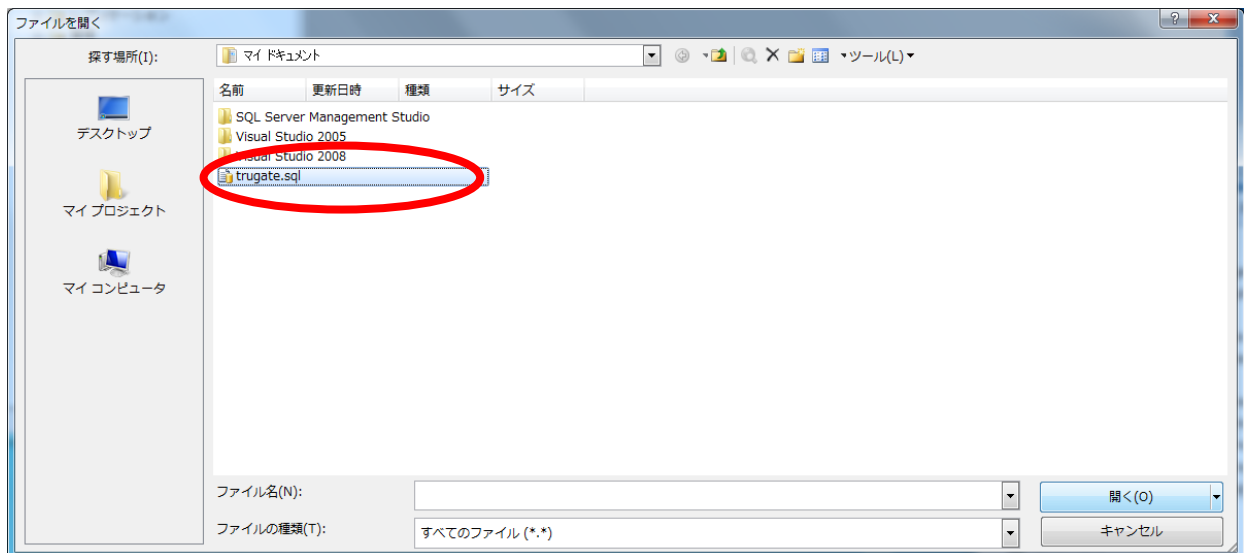


図 45 SQL スクリプトファイルの選択

SQL スクリプトファイルがロードされたら、ペイン中のデータベースファイルのパスを適宜変更し、「実行」ボタンをクリックします。

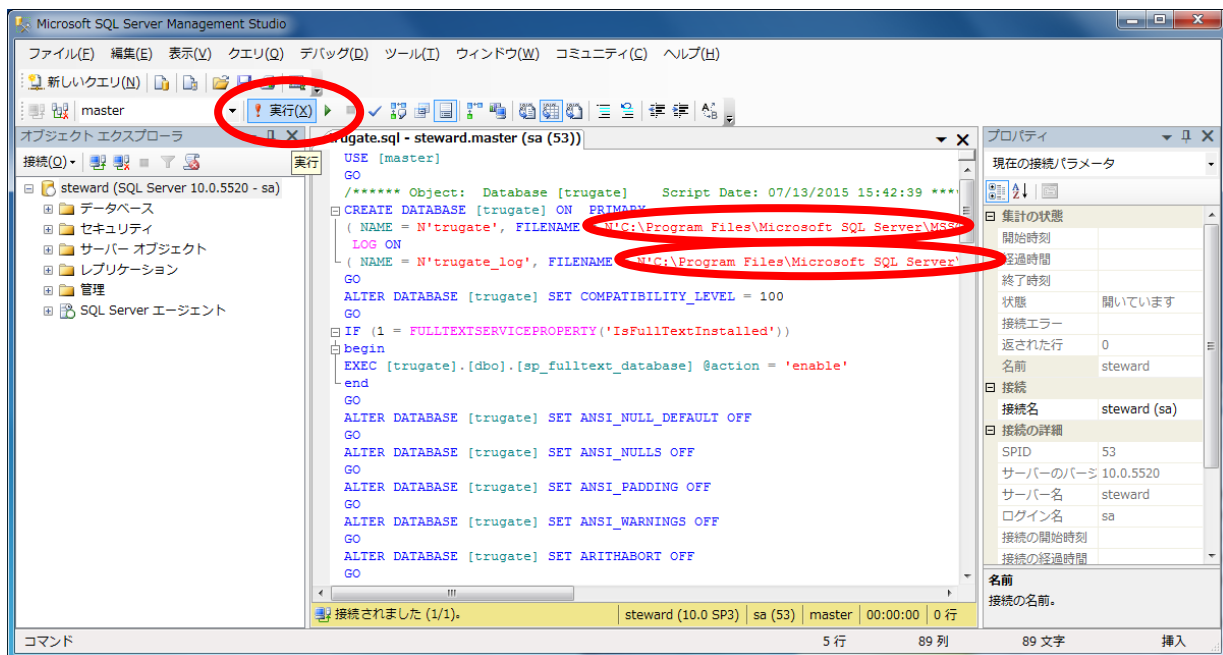


図 46 SQL スクリプトの実行

SQL スクリプトが正常に実行されると、下図に示すように trugate データベースが作成されます。

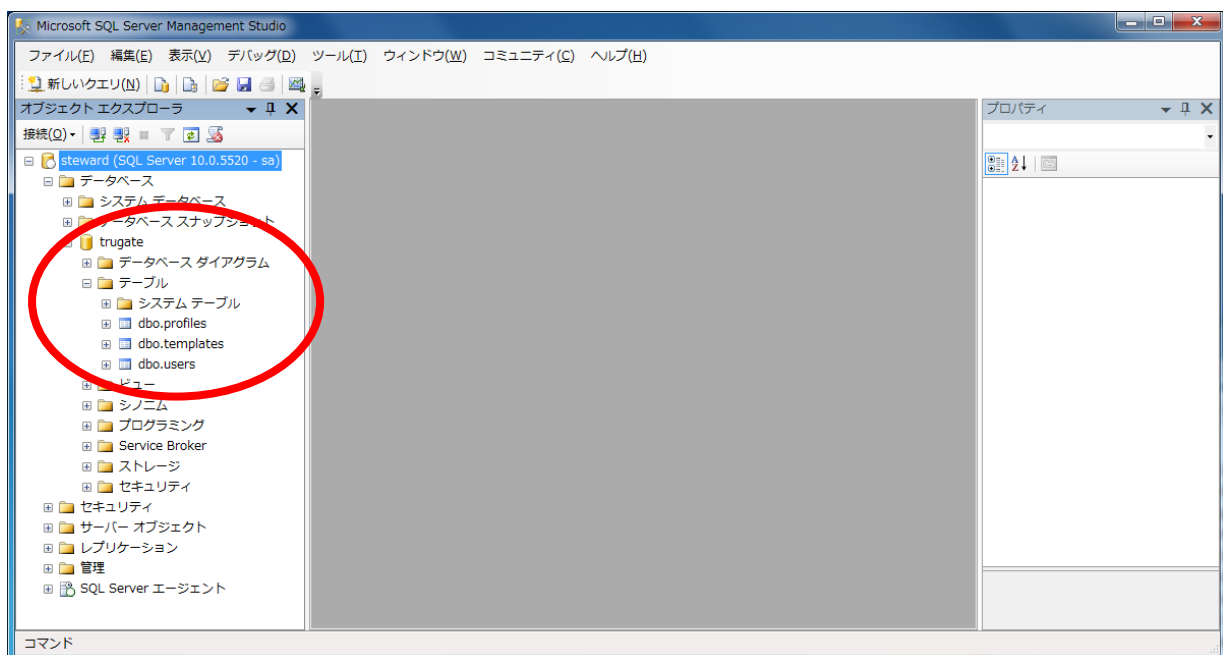


図 47 trugate データベースの作成

ii. データソース(ODBC)設定

インストールした PC の検索窓に、「ODBC データソース(64 ビット)」と入力し、見つかったアプリケーションを起動します。

ODBC データ ソース アドミニストレーターが起動したら、「システム DSN」タブを選択し、「追加」ボタンをクリックしてください。

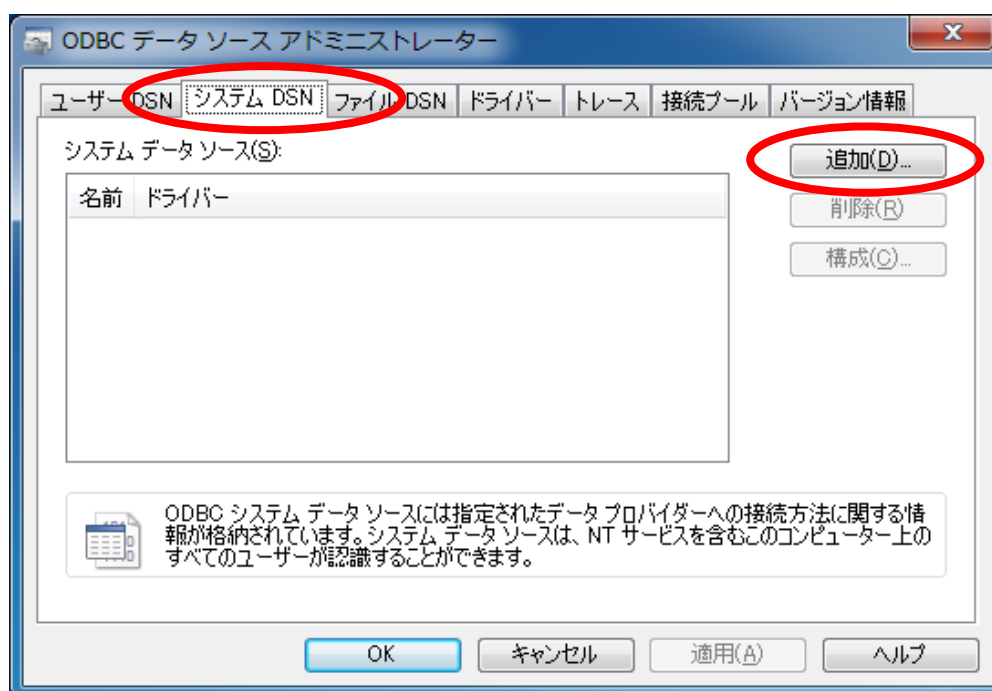


図 48 ODBC データ ソース アドミニストレーター起動画面

データ ソースの新規作成画面が表示されたら、使用しているデータベース用の ODBC ドライバを選択し、「完了」ボタンをクリックします。

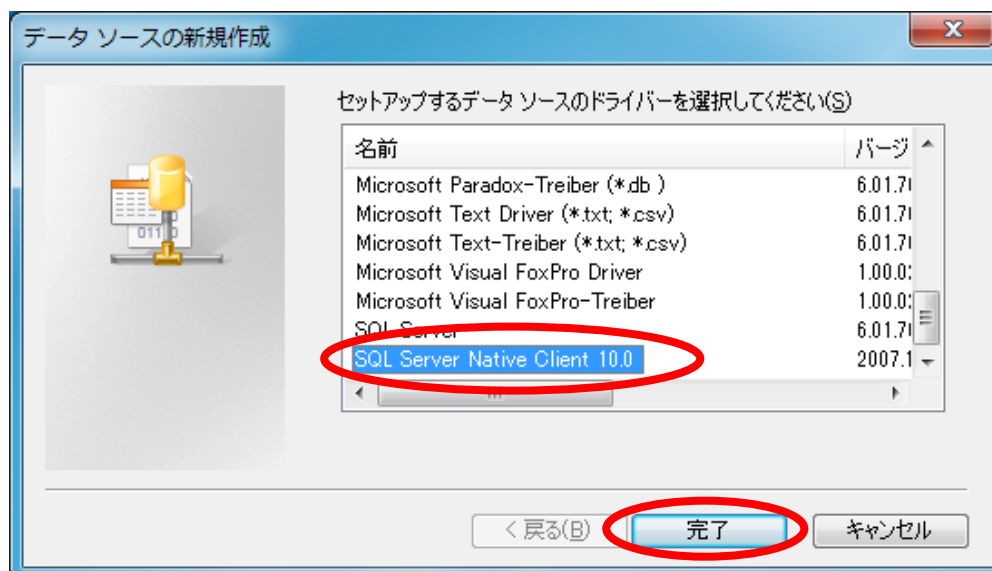


図 49 データ ソースの新規作成

SQL Server に接続するための新規データ ソースを作成するウィザードが表示されたら、「名前」エディットボックスに新しいデータ ソースの名前を、「サーバー」エディットボックス

に接続する SQL Server サーバー名を入力し、「次へ」ボタンをクリックしてください。

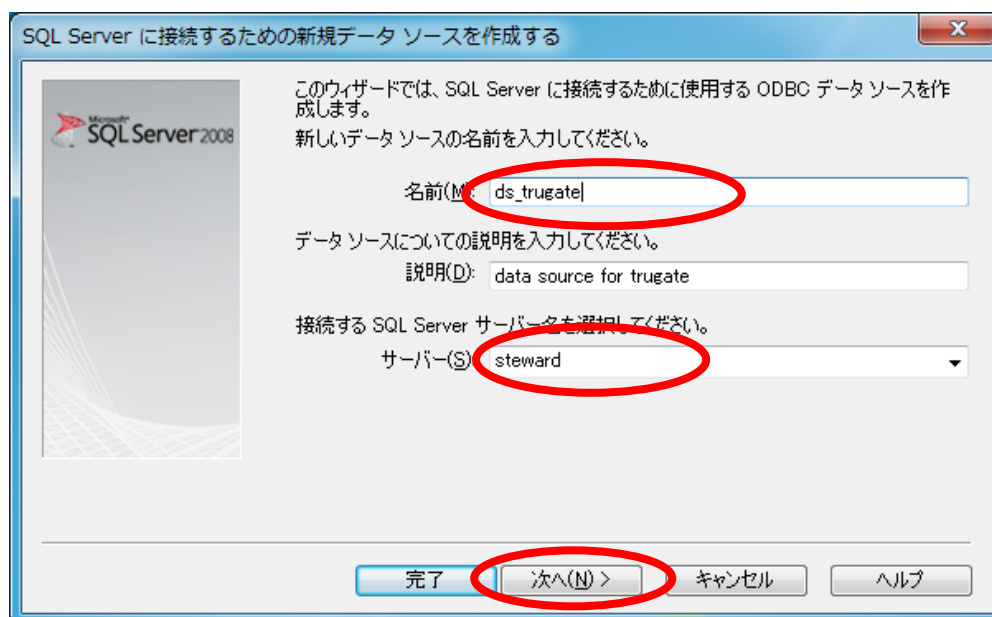


図 50 SQL Server に接続するための新規データ ソースを作成するウィザード画面 — 基本設定

次に、認証方法の設定ページが表示されたら、認証方法を指定します。指定したら、「次へ」ボタンをクリックしてください。

注) 「統合 Windows 認証を使う」を選択した場合、前述のデータベースの作成で作成した trugate データベースにログオンユーザーのアクセス権限を付与する必要があります。

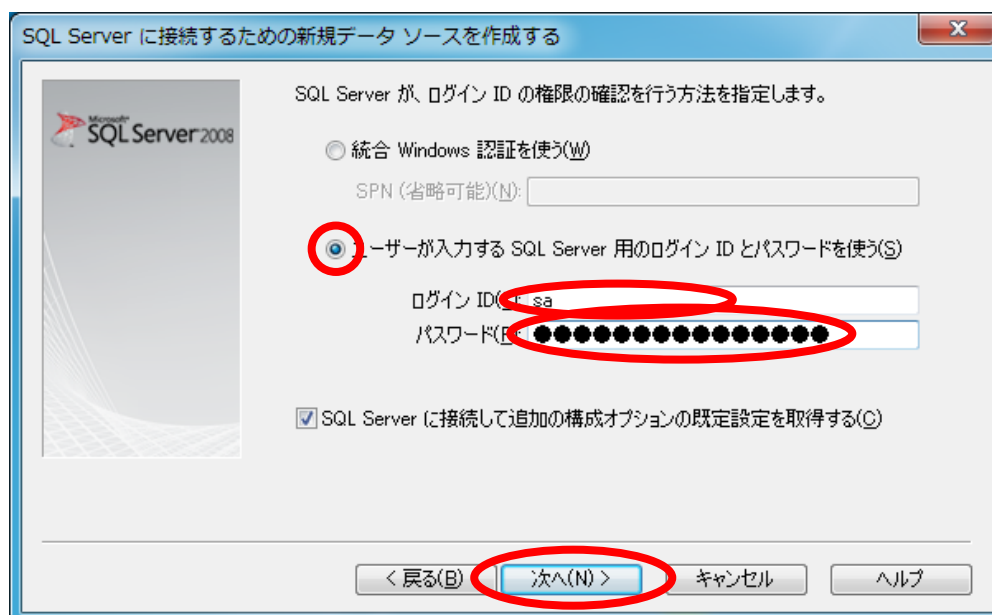


図 51 SQL Server に接続するための新規データ ソースを作成するウィザード — 認証方法

次に、データベースの設定ページが表示されたら、「既定のデータベースを以下に変更する」チェックボックスをチェックし、前述のデータベースの作成で作成した trugate データベ

ースを選択します。設定が終わったら、「次へ」ボタンをクリックしてください。

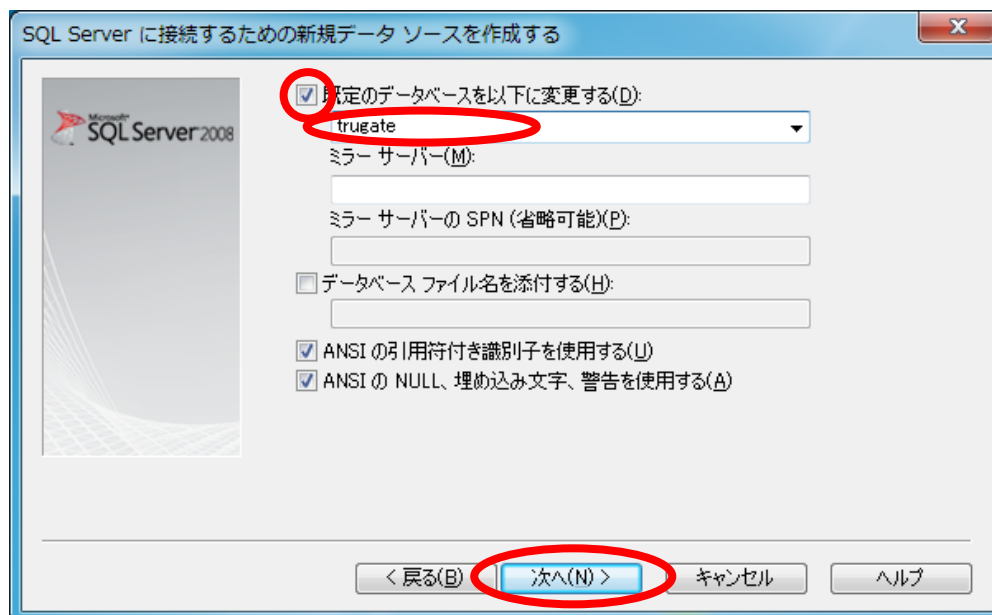


図 52 SQL Server に接続するための新規データ ソースを作成するウィザード – 既定のデータベース

次に、詳細設定ページが表示されたら、「完了」ボタンをクリックしてください。

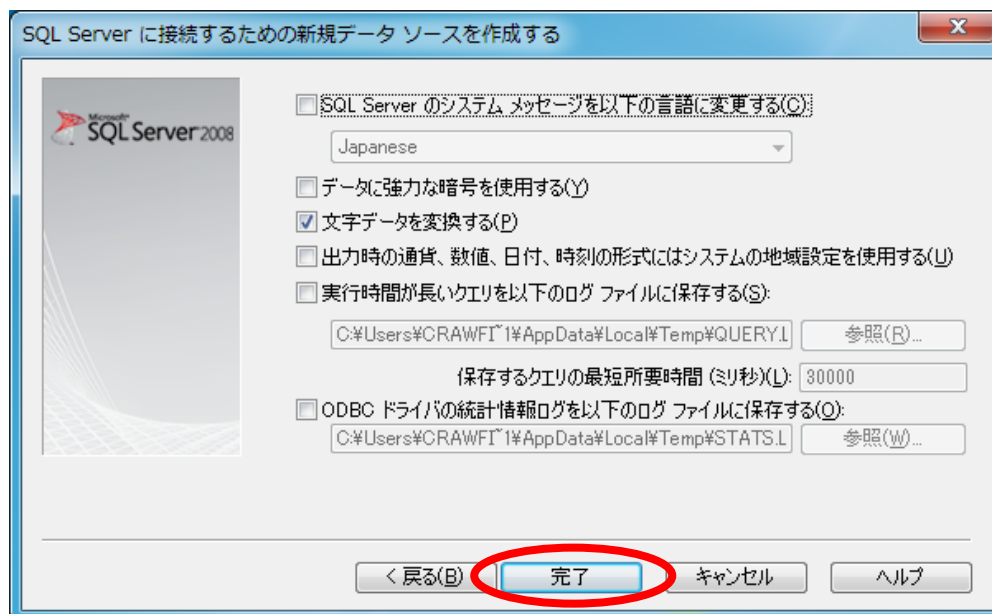


図 53 SQL Server に接続するための新規データ ソースを作成するウィザード – 詳細設定

ODBC Microsoft SQL Server セットアップ画面が表示されたら、「データ ソースのテスト」ボタンをクリックします。

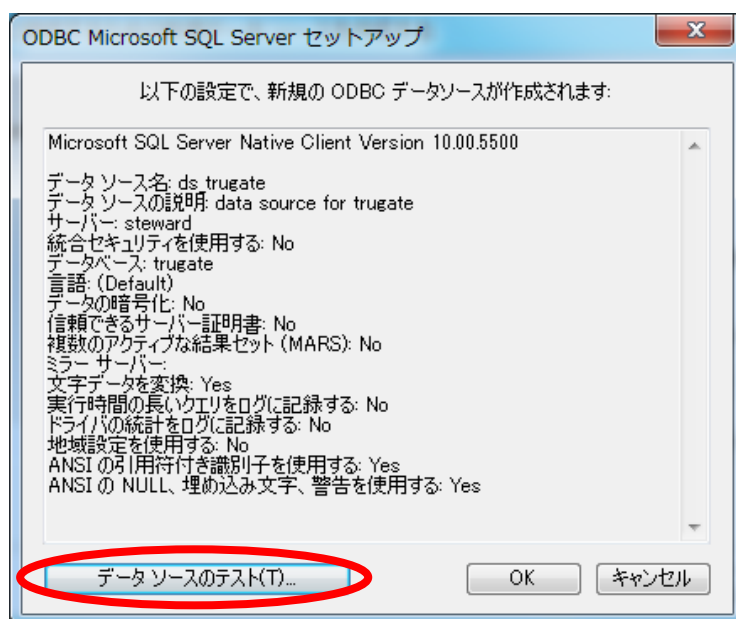


図 54 ODBC データソースの作成確認

SQL Server ODBC データ ソース テスト画面が表示されたら、「OK」ボタンをクリックします。テストに失敗した場合は、データ ソースの作成をやり直してください。

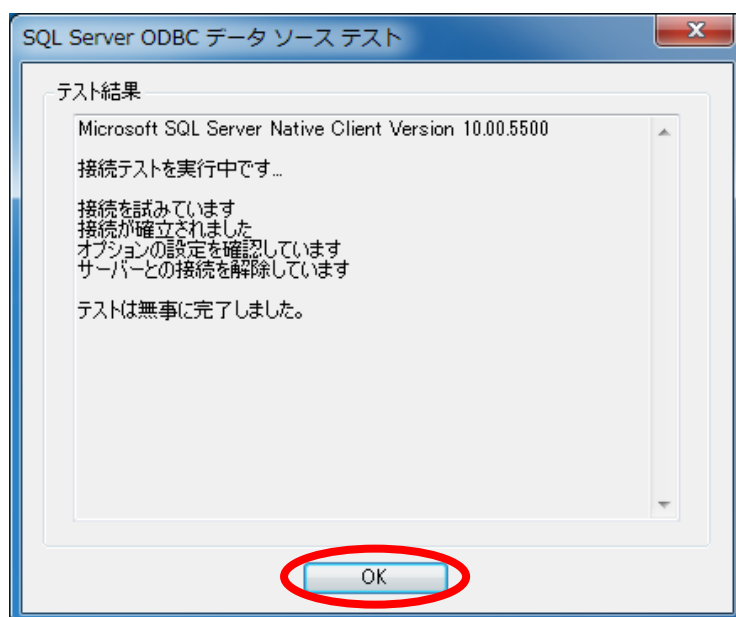


図 55 ODBC データソースの作成確認

データ ソースが正常に作成され、ODBC データ ソース アドミニストレーターに戻ると、下図に示すように新規追加したデータ ソースがリストアップされます。

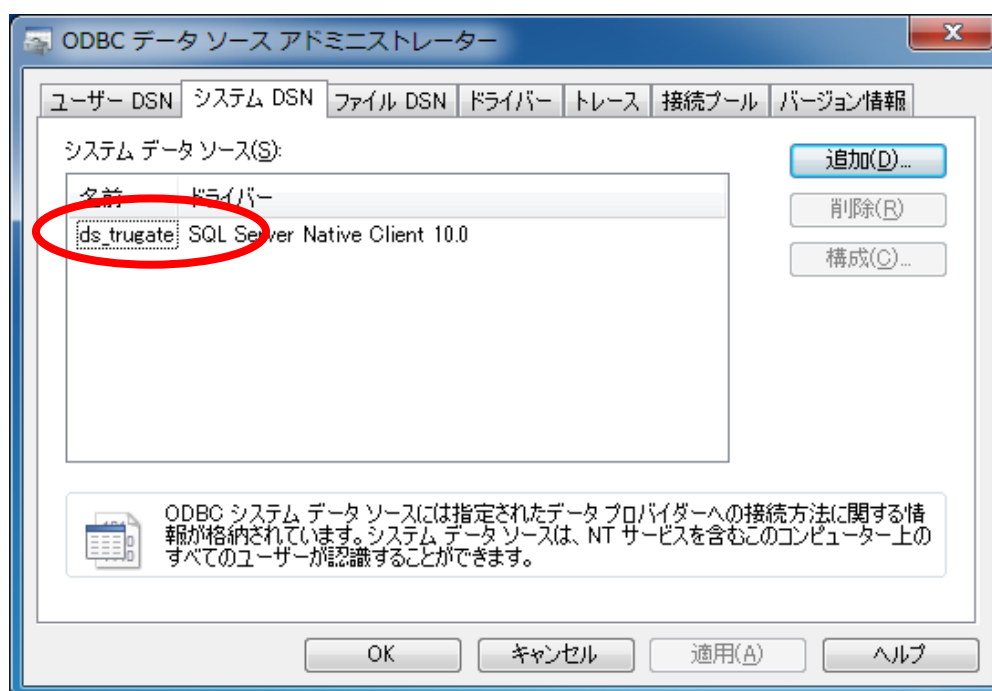


図 56 ODBC データ ソース アドミニストレーター完了画面

以上

Trusted Stackware シリーズ製品に関するお問い合わせ

有限会社ディーオーアイネット

〒190-0011

東京都立川市高松町 2-25-23

E-Mail: info@doi-net.com

URL: <https://www.doi-net.com/>